

# 2023年3月期 第1四半期 決算説明資料

- 1) 決算概要
- 2) 決算のポイント
- 3) 国内売上高
- 4) 海外売上高
- 5) 商品群別売上高  
[参考] 内訳
- 6) トピックス
- 7) 減価償却費と研究開発費
- 8) 上期・通期業績見通し  
[参考] 商品群別売上高見通し/為替の影響  
[参考] COVID-19関連需要(概算)

日本光電工業株式会社

銘柄コード: 6849

2022年8月3日

Fighting Disease with Electronics



# 1) 決算概要

	2022/3 第1四半期	2023/3 第1四半期	増減率 (%)
売上高	47,182	44,363	△ 6.0
国内売上高	29,364	28,971	△ 1.3
海外売上高	17,817	15,391	△ 13.6
売上総利益 (売上総利益率)	24,565 52.1%	21,811 49.2%	△ 11.2
営業利益 (営業利益率)	6,423 13.6%	1,817 4.1%	△ 71.7
経常利益	6,743	5,481	△ 18.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,537	3,679	△ 18.9

(単位:百万円、単位未満切捨て)

← 為替影響除く: △23%

← 自社品  
売上比率: 2022/3 Q1 72.0% → 2023/3 Q1 70.8%

← 販管費率: 38.5% → 45.1%

← 為替差益: 2.0億円 → 35.5億円

平均レート	(2021/6)	(2022/6)
1米ドル	108.9円	124.6円
1ユーロ	131.5円	136.8円

## 2) 決算のポイント

### 売上高：前年同期比 6.0%減

- 国内：検査・手術件数の回復や設備投資の再開により、生体計測機器や検体検査装置、ITシステム商談は好調に推移。前年同期に感染症対応のため整備が進んだ生体情報モニタ等の売上が減少。
- 海外：前年同期に好調だった生体情報モニタの反動もあり、全ての地域で減収。

### 営業利益：前年同期比 71.7%減

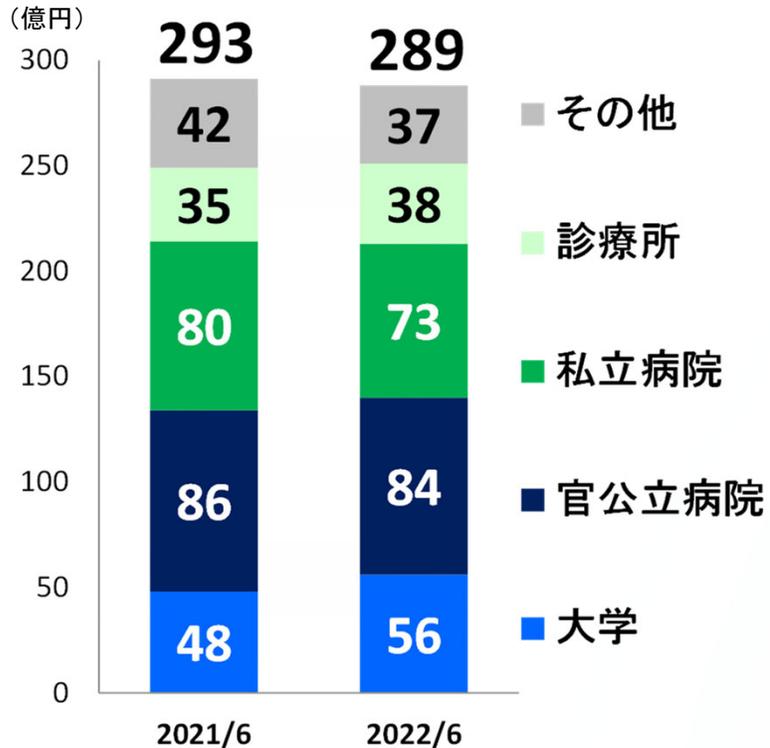
- 減収に加え、売上構成の変化による原価率の上昇、人員の増強および営業・サービス活動の正常化に伴う販管費の増加により、減益。

### 経常利益：前年同期比 18.7%減

- 為替差益が大幅に増加。

# 3) 国内売上高

【市場別売上高】



【商品群別売上高】

(単位:百万円)

	2022/3 第1四半期	2023/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	6,392	7,897	23.5
生体情報モニタ	10,827	9,203	△ 15.0
治療機器	6,323	5,648	△ 10.7
その他	5,822	6,222	6.9
<b>売上高合計</b>	<b>29,364</b>	<b>28,971</b>	<b>△ 1.3</b>

【市場別】 官公立病院、私立病院市場は、生体情報モニタ等の整備もあり大幅増収となった前年同期を下回る。

大学病院、診療所市場は、検査・手術件数の回復や設備投資の再開により、好調に推移。

【商品群別】 生体計測機器： 脳神経系群、心臓カテーテル検査装置群、診断情報システムが二桁増収。心電計群も好調に推移。

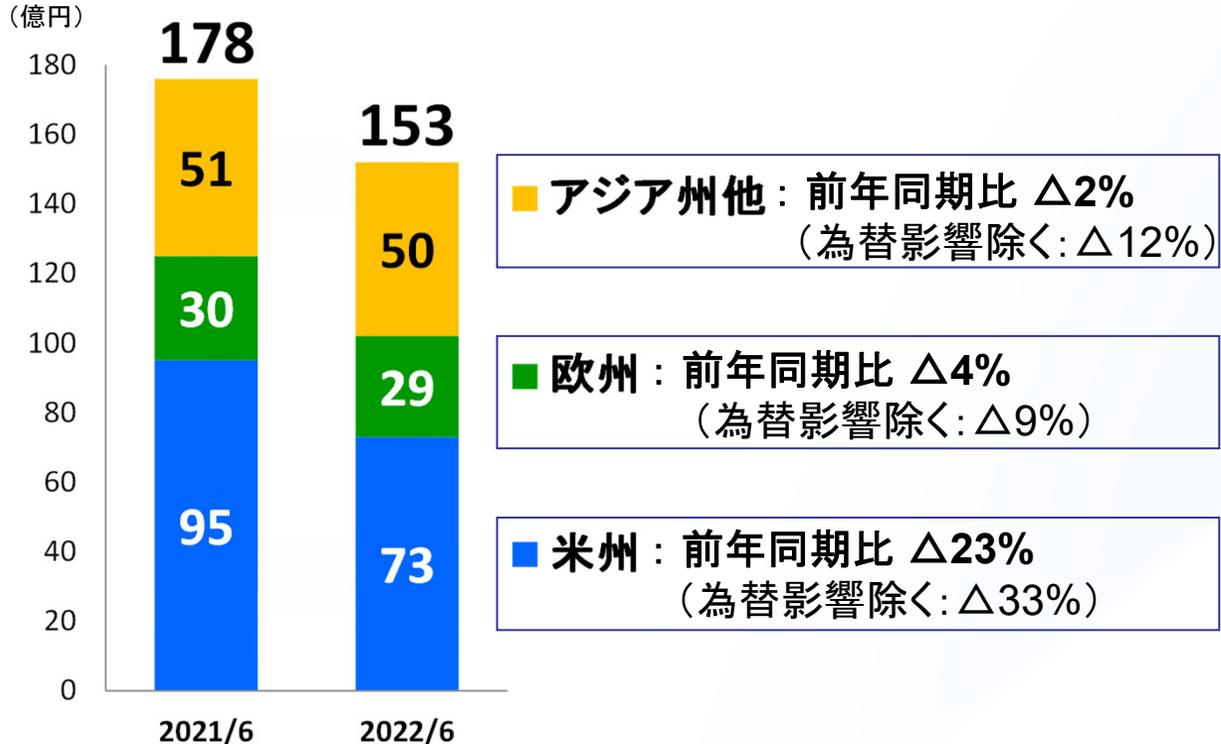
生体情報モニタ： 前年同期に好調だった送信機、ベッドサイドモニタが二桁減収。臨床情報システムは大幅増収。

治療機器： 人工呼吸器が大幅減収。AEDも好調だった前年同期を下回る。除細動器は堅調に推移。

その他： 検体検査装置や医療機器の設置工事・保守サービスが好調に推移。自社品販売の注力により、現地仕入品は減収。

# 4) 海外売上高

【地域別売上高】



【海外売上高比率】

2022/3 第1四半期	2023/3 第1四半期
37.8%	34.7%

【商品群別売上高】

(単位: 百万円)

	2022/3 第1四半期	2023/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	2,179	2,133	△ 2.1
生体情報モニタ	10,075	7,714	△ 23.4
治療機器	4,035	3,994	△ 1.0
その他	1,526	1,549	1.5
<b>売上高合計</b>	<b>17,817</b>	<b>15,391</b>	<b>△ 13.6</b>

為替影響除く: Δ23%

- 【地域別】 米州: 米国は、前年同期の生体情報モニタの大口商談の反動により減収。中南米も、前年同期に売上が倍増したブラジル、ペルーを中心に減収。
- 欧州: ドイツ、イギリスは好調に推移したものの、フランス、トルコが低調だったことから、減収。
- アジア州他: 中国が減収となったことから前年同期を下回る。韓国、インドネシアは好調に推移。
- 【商品群別】 生体計測機器: 脳神経系群は全ての地域で好調に推移するも、心電計群が全ての地域で低調。
- 生体情報モニタ: 米国、中南米が大幅減収となったほか、欧州も低調に推移。アジア州他は前年同期実績を上回る。
- 治療機器: 除細動器が全ての地域で好調だった前年同期を下回る。AEDは全ての地域で好調。人工呼吸器も欧州、アジア州他で好調。
- その他: 血球計数器・試薬が中南米、欧州で好調に推移。

# 5) 商品群別売上高

(単位:百万円)

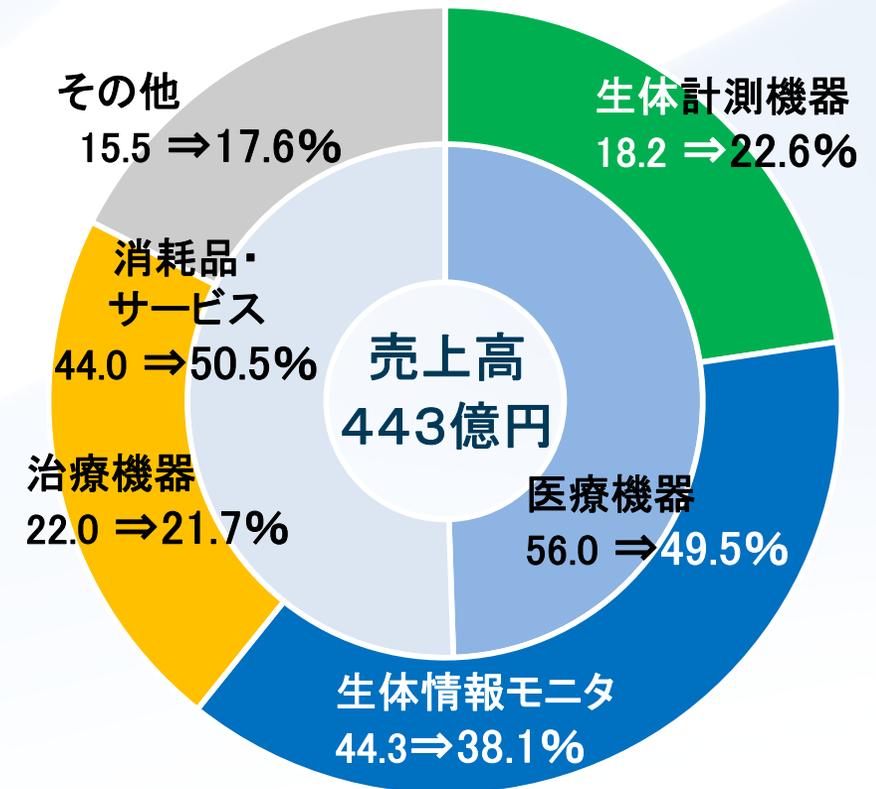
	2022/3 第1四半期	2023/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	8,571	10,031	17.0
生体情報モニタ	20,903	16,917	△ 19.1
治療機器	10,358	9,642	△ 6.9
その他	7,349	7,771	5.8
売上高合計	47,182	44,363	△ 6.0

(ご参考)

消耗品・サービス	20,760	22,409	7.9
----------	--------	--------	-----

## 商品群別売上構成比

(2021/6 ⇒ 2022/6)



# [参考] 商品群別売上高の内訳

(単位:億円、単位未満切捨て)

生 体 計 測 機 器	2022/3 第1四半期	2023/3 第1四半期
脳 神 経 系 群	15	21
心 電 計 群	15	14
心臓カテーテル検査装置群	32	41
その他(診断情報システム等)※	22	23

※診断情報システムや他社製の生体計測機器を含みます。

治 療 機 器	2022/3 第1四半期	2023/3 第1四半期
医 科 向 け 除 細 動 器	20	16
A E D	41	42
ペ ー ス メ ー カ ・ I C D	6	5
人 工 呼 吸 器	15	13
そ の 他	18	18

そ の 他	2022/3 第1四半期	2023/3 第1四半期
検 体 検 査 装 置	22	25
画 像 診 断 装 置 他 ※	50	52

※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。

# 6) トピックス

## 主な新製品

### 生体情報モニタリング事業

#### 新生児蘇生モニタ Breath Cue NRM-1300

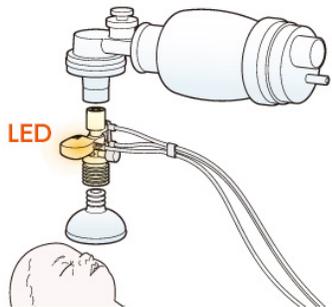


- 新生児蘇生に特化したパラメータをモニタリング

ECG | SpO<sub>2</sub> | 呼吸流量 | 気道内圧

- LEDの色と点滅で陽圧換気を視覚的にサポート

2022年度  
日本、インドネシアで普及に向けた取り組みを開始



3 すべての人に健康と福祉を



新興国を中心に  
新生児死亡率を低減

### 治療機器事業

#### 人工呼吸器 NKV-330



- 当社初の自社製NPPV※人工呼吸器（日本で開発・生産）
- ハイフロー酸素療法
- フィット性の高いマスク

2019年6月

- ✓ 日本、欧州、新興国で発売



2022年7月

- ✓ 米国FDA承認取得
- ✓ 米国で生産開始、2Q発売

※ NPPV (non-invasive positive pressure ventilation) : 非侵襲的陽圧換気。気管内挿管や気管切開を行わない人工呼吸管理。

# 7) 減価償却費と研究開発費

(単位:百万円)

	2022/3 第1四半期	2023/3 第1四半期	増減額	2022/3 実績	2023/3 計画
減価償却費	756	825	69	3,422	3,700
研究開発費	1,324	1,412	88	5,711	6,300
			設備投資額	3,022	5,600

## ●2023/3設備投資計画

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備

インド 試薬新工場の建設	総投資額:約11億円	<	2023/3:10億円 2024/3:1億円	着工:2022年秋 完成:2023年春 稼働開始:2024年春予定
PLM/MES※システムの導入	設備投資額:約25億円	<	2023/3:10億円 2024/3~2025/3:15億円	PLM:2024/3下期稼働予定 MES:2025/3稼働予定

※PLM(Product Life-cycle Management):製品ライフサイクル管理、MES(Manufacturing Execution System):製造実行システム。

# 8) 上期・通期業績見通し

	2022/3 実績		2023/3 予想			
	上期	通期	上期	増減率 (%)	通期	増減率 (%)
売上高	1,023	2,051	880	△ 14.0	1,950	△ 4.9
国内売上高	651	1,363	—	—	1,305	△ 4.3
海外売上高	371	688	—	—	645	△ 6.3
売上総利益 (売上総利益率)	544 53.2%	1,090 53.2%	—	—	982 50.4%	△ 10.0
営業利益 (営業利益率)	174 17.0%	309 15.1%	50 5.7%	△ 71.3	165 8.5%	△ 46.8
経常利益	179	345	50	△ 72.2	165	△ 52.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	122	234	35	△ 71.5	110	△ 53.1
海外売上高比率	36.3%	33.5%			33.1%	

(単位: 億円)

← 為替影響除く: △10%

## 【地域別海外売上高】

(単位: 百万円)

	2022/3 実績	2023/3 予想	増減率 (%)
米州	33,436	34,400	2.9
欧州	11,449	10,100	△ 11.8
アジア州他	23,921	20,000	△ 16.4
海外計	68,807	64,500	△ 6.3

※第2四半期以降の前提為替レートは、117円/米ドル、130円/ユーロから変更していません。

# [参考] 商品群別売上高見通し/為替の影響

	2022/3 実績	2023/3 予想	増減率 (単位:百万円)	
			構成比(%)	(%)
生体計測機器	39,681	41,100	21.1	3.6
生体情報モニタ	84,860	75,900	38.9	△ 10.6
治療機器	43,388	41,000	21.0	△ 5.5
その他	37,198	37,000	19.0	△ 0.5
売上高合計	205,129	195,000	100.0	△ 4.9

(ご参考)

消耗品・サービス	90,576	94,800	48.6	4.7
----------	--------	--------	------	-----

平均レート

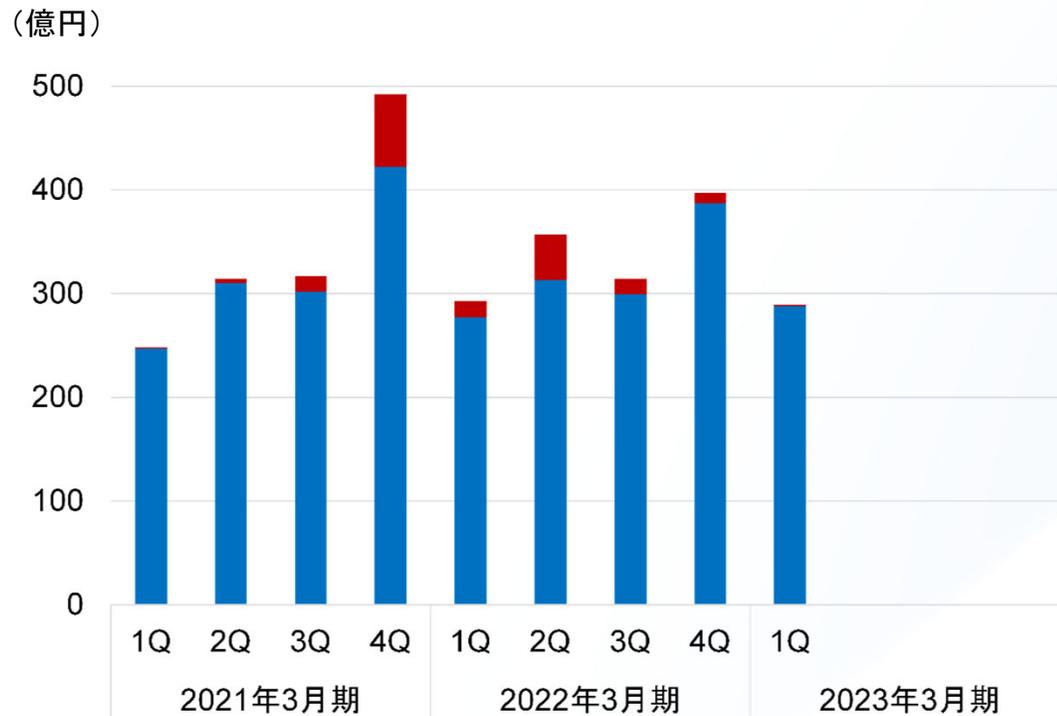
	2022/3 実績	2023/3 予想
1 米ドル	111.3円	117円
1 ユーロ	130.6円	130円

為替感応度の概算値(年間)

	売上高	営業利益
米ドル	3.8億円	1.2億円
ユーロ	0.6億円	0.2億円

# [参考] COVID-19関連需要(概算)

## 【国内売上高】



## 【海外売上高】



■ COVID-19関連  
■ COVID-19関連以外

2023/3 第1四半期 COVID-19関連需要	国内		海外	
		対前期増減		対前期増減
生体情報モニタリング	1億円程度	△12億円程度	2億円程度	△11億円程度
人工呼吸器	—	△2億円程度	1億円程度	△2億円程度
除細動器	—	—	1億円程度	△3億円程度
合計	1億円程度	△14億円程度	4億円程度	△16億円程度

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告を目的としているものではありません。

**【担当部署】 経営戦略統括部**

**【連絡先】 TEL03-5996-8003**